

# First Stars VI 参加報告

広域システム科学系 修士2年 鷲ノ上遥香

2020年3月1日から6日までコンセプション大学(チリ共和国)にて開催された国際会議 First Stars VI に参加し、ポスター発表を行いました。本会議は、宇宙初期に誕生した初代天体の形成・進化とその宇宙史における役割について発表し、議論を交わすことで、今後のさらなる分野発展を目指す目的のもとで実施されています。

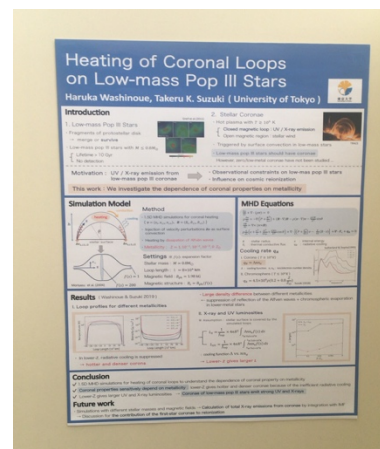
会議期間中は、ポスター発表にて毎日参加者と自身の研究内容について議論しました。私は小質量初代星大気の特徴についての研究を行っており、分野内の先行研究・類似研究がほとんど無い内容を発表したのですが、興味を持って聞いてくれた参加者がいたことを嬉しく思いました。理論・観測両面からの質問や指摘を受け、改めて自分の研究を多角的に理解することができたと感じています。未だ慣れない英語でのコミュニケーションにも苦労しましたが、完璧でなくとも臆せず意見を言う練習の場にもなり、非常に良い経験になりました。また、海外で活躍する様々な研究者の発表を聴講することで、当該分野の最新研究成果や観測計画などを幅広く把握でき、初代天体研究に関する知見を一層深めることができました。

本会議に参加し発表をしたことで、多くの気づきや課題を得られました。加えて、堂々と楽しそうに研究発表をする各国の優秀な若手研究者の姿を目の当たりにしたことも、私にとって非常に良い刺激となりました。今後はより研究分野周辺の知識を深め、自分の研究に還元してさらに内容を発展させていく必要があると考えています。

今回、広域科学専攻からの国際研究集会出席者資金助成を頂いたことによって、このような大変貴重な経験をさせていただきました。ここに厚く感謝申し上げます。



(左) コンセプション大学正門



(右) 報告者のポスター